

經濟論叢

第七十七卷 第三號

消費函數をめぐる省察……………高田保馬(1)

金融資本の概念と本質……………靜田均(17)

明治末期の財政政策……………眞藤素一(37)

栗原百壽著「農業問題入門」……………大藪輝雄(61)

[昭和三十一年三月]

京都大學經濟學會

京都大學經濟學會規則

第二條 本會を京都大學經濟學會と稱する
 本會は左の會員を以て組織する

(イ) 正會員 京都大學經濟學部教授、助教、講師

(ロ) 學生會員 京都大學經濟學部出身者

(ハ) 贊助會員 本會の事業を贊助する者

(ニ) 名譽會員 京都大學法學部教授、助教、講師

第三條 前條の外所定の會費を納めて「經濟論叢」の頒布を受ける個人及團體は購讀會員とす

第四條 特別の場合に限り前條に定められた會員以外の者にも會員に準ずる取扱いをすることができ

第五條 本會の事務所は京都大學經濟學部に置く

第六條 本會は左の事業を行う
 一、機關雜誌「經濟論叢」を發行すること
 二、別號を發行することがある
 三、一「經濟學研究叢書」を發行すること
 四、毎月一回學術研究會を開催すること
 五、毎年一回公開講演會を開催すること

第七條 會員には雜誌を配布する、但し臨時特別號は比

第九條 會員には左の會費を納めなければならない
 一、正會員 年額 八百圓
 二、學生會員 年額 七百圓
 三、贊助會員 年額 壹萬圓以上
 四、購讀會員 年額 八百圓

第十條 本會規則の改正變更及財産の處分は評議員會の決議による

第十一條 本會規則の改正變更及財産の處分は評議員會の決議による

昭和二十七年十二月

京都大學經濟學會

既刊目次

第七十六卷第六號

十二月一日發行
 定價六〇圓

第二ラダイツ蜂起について……………穗積文雄

レーニン論のブルジ……………堀江英一

ソロルド・ロジャール……………岸田理

ズについての一研究……………

第七十七卷第一號

一月一日發行
 定價一五〇圓

住民税の問題點……………神戸正雄

資本主義より労働主義へ……………作田莊一

ケインズ論の一般理論について(上)……………柴田敬

中國農業金融の蹤跡……………徳永清行

アメリカ經濟管見……………堀江保藏

ラダイツ批判……………穗積文雄

恐慌と地代……………鶴嶋雪嶺

ベンサム功利主義體系……………山下博

第七十七卷第二號

二月一日發行
 定價六〇圓

日本經濟の現状と……………堀田庄三

今後の經濟政策……………

ケインズ論の一般理論について(下)……………柴田敬

地方自治の歴史的……………齋藤博

京都大學經濟學會

あつた。このことは、日本資本主義の發展にたいして種々の特殊性を與えたが、なかんずく、日本農業の資本主義的分解を極度に歪曲し、日本資本主義をして、半封建的な寄生地主制のうゑに立脚せしめるにいたらしめたのである。」(二八一—二八二頁)ここに、日本の寄生地主制成立の根本原因が、日本資本主義がドイツよりもおそく、世界資本主義の獨占段階から出發したために、「農民的な道はもろろん、地主的な道」(二八二頁)もとりえなかつたことに求められている。これは日本の寄生地主制成立の外的條件を指摘した點で重要である。われわれは更に進んで寄生地主制成立の諸條件を、農民的な道ならびに地主的な道の前提諸條件との對比において、理論的に確定する必要がある。

(2) 戦後の農地改革の評価については、栗原氏は、その「現代日本農業論」においては、地主制の解體を主張し、改革を國家獨占資本主義の農業把握として一貫してとらえられ、戦後論争の一點をなしていたが、本書では農地改革によつて寄生地主制は一應整理されたが、國家獨占資本主義的收奪の下に分割地所有が潰滅され、寄生地主制成立の必然性は解消されていないとしておられる。(二九四頁)

ここで栗原氏の寄生地主制成立の論理——分割地所有の潰滅に
もつて寄生地主制の成立——が適用され、特に、フランス革

「結語」以上検討してきた如く、本書は、個々の點については問題とすべきものがあり、また極めて大膽な問題提起をおこなつていて、その解決のためには各方面の理論的・歴史的研究の深化を必要とし、早急なる解決は望めないであらう。しかし日本の現實の問題を解明するためには、農村の具體的分析と共に體系的な農業理論の確立は不可欠のものである。この點において本書はすぐれたものといふことができる。

執筆者紹介

高田保馬	京都大學名譽教授
靜田均	京都大學教授
眞藤素一	長崎大學講師
大藪輝雄	京都大學大学院學生

G・セルデス著
西田勳譯

一〇〇〇人のアメリカ人

上巻 二八〇圓
下巻 二八〇圓

J・クチンスキー著
加藤長雄・二見昭譯

世界經濟史

B 6 二一六頁
定價 二五〇圓

島恭彦編

地方財政の理論と實態

A 5 二七六頁
定價 三五〇圓

稻葉四郎著

經濟學の基礎理論

A 5 四〇九頁
定價 五七〇圓

大野英二著

ドイツ金融資本成立史論

A 5 二八〇頁
定價 四八〇圓

V・ヨーン著
足利末男譯

統計學史

B 6 四二四頁
定價 四八〇圓

山岡亮一編
木原正雄編

封建社會の基本法則

近 刊
定價 五二〇圓

アンドレ・ツーセ著
松岡孝兒譯

佛領印度支那幣制論

近 刊
定價 七〇〇圓

東京 有斐閣 京都

會 員 經濟論叢は昭和二十七年七月以來毎月刊行
各位へ 致しておりますが、この機会に會費を御納
入下さいますようお願い致します。

一、會費納入先

京都市左京區吉田本町

京都大學經濟學部内

京都大學經濟學會

振替口座大阪五〇五三九番

一、會費 年額 八〇〇圓(前納)

一、會員各位の本籍、現住所、氏名、出身高校名、卒業
年次、就職先を學會まで御通知下さい。

一、會員外の雜誌購入は有斐閣へお申込下さい。

昭和三十一年二月廿五日印刷
昭和三十一年三月一日發行

定價 六〇圓

編集兼 發行 人 簾 治良 左衛門

印刷所 中村印刷株式會社
京都市下京區七條御所ノ内東町三九番地
中村 勝治

發行所 京都市左京區吉田本町
京都大學經濟學會
振替口座大阪五〇五三九番

發賣所 株式會社 有斐閣

本社 東京都千代田區神田
神保町二丁目十七番地
京都支店 京都市左京區北白川
農學部 電停前

Keizai-Ronso

(THE ECONOMIC REVIEW)

Vol. 77, No. 3

Mar., 1956

CONTENTS

- Reconsiderations on the Theory
of Consumption Function *Yasuma TAKATA*
- On Definition and Nature of
Finance Capital *Hitoshi SHIZUTA*
- The Financial Policy in the
Later Meiji Era *Motokazu SHINDÔ*
- H. Kurihara: An Introduction to the
Agricultural Problems *Teruo ÔYABU*
-

Published

by

KYOTO DAIGAKU KEIZAIGAKU-KAI

(KYOTO UNIVERSITY ECONOMIC SOCIETY)